

2019/08/11の定期メンテナンスにおける cybozu.com 共通、kintone API、Garoon API、User API 更新情報 (2019/07/12)

2019年8月11日の定期メンテナンスの、cybozu.com 共通、kintone API、Garoon API および User API の更新に関する情報をお知らせします。

お知らせの内容に追加、変更等ありましたら、こちらのコメントにて変更箇所を追記します。

また、APIドキュメントには仕様を順次公開していきます。

cybozu.com 共通

仕様変更

- OAuth クライアントの認可要求時の Garoon のスコープに「ワークフロー申請データの取得」を追加
 - 対象機能
 - [OAuthクライアントの使用 \(β\)](#)
 - 内容：
OAuth の認可要求時のスコープ設定で、以下の Garoon に対するアクセス権限を付与できるようになります。
 - g:workflow:read ワークフロー申請データの取得

kintone JavaScript API

仕様変更

- kintone 全体およびアプリのカスタマイズで適用する JavaScript/CSS ファイルのファイルサイズ上限値が増加
 - 対象画面および API
 - kintone システム管理の「JavaScript / CSSによるカスタマイズ」画面で、JavaScript/CSSファイルを指定するとき
参考：[JavaScriptやCSSでkintone全体をカスタマイズする](#)
 - アプリの「JavaScriptやCSSでアプリをカスタマイズ」画面で、JavaScript/CSSファイルを指定するとき
参考：[JavaScriptやCSSでアプリをカスタマイズする](#)
 - [JavaScript / CSSカスタマイズ設定の変更 API](#) を利用するとき

- 内容：
kintone 全体およびアプリのカスタマイズで適用できる JavaScript/CSS ファイルのファイルサイズの上限値が 20MB になります。
 - 変更前：
 - JavaScript ファイル（PC用およびスマートフォン用）：**5MB**
 - CSS ファイル（PC用およびスマートフォン用）：**512KB**
 - 変更後：
 - JavaScript ファイル（PC用およびスマートフォン用）：**20MB**
 - CSS ファイル（PC用およびスマートフォン用）：**20MB**

不具合修正

- スマートフォン版のレコード追加画面またはレコード編集画面で、2階層以上あるカテゴリを選択できない現象を解消
 - 対象 API
 - [レコード追加画面が表示された時のイベント](#)
mobile.app.record.create.show
 - [レコード追加画面のフィールド値変更時イベント](#)
mobile.app.record.create.change.<フィールドコード>
 - [レコード編集画面が表示された時のイベント](#)
mobile.app.record.edit.show
 - [レコード編集画面のフィールド値変更時イベント](#)
mobile.app.record.edit.change.<フィールドコード>
 - [レコードに値をセットする](#) kintone.mobile.app.record.set()
 - 内容：
スマートフォン版のレコード追加画面またはレコード編集画面で、2階層以上あるカテゴリの値を指定したとき
 - 修正前：カテゴリが選択されない
 - 修正後：カテゴリが選択される
- スマートフォン版のレコード追加画面またはレコード編集画面で、同じ値のカテゴリが複数存在している状態でその同値のカテゴリを指定した場合、同値のカテゴリがすべて選択される現象を解消
 - 対象 API
 - [レコード追加画面が表示された時のイベント](#)
mobile.app.record.create.show
 - [レコード追加画面のフィールド値変更時イベント](#)
mobile.app.record.create.change.<フィールドコード>
 - [レコード編集画面が表示された時のイベント](#)
mobile.app.record.edit.show
 - [レコード編集画面のフィールド値変更時イベント](#)
mobile.app.record.edit.change.<フィールドコード>
 - [レコードに値をセットする](#) kintone.mobile.app.record.set()
 - 内容：
スマートフォン版のレコード追加画面またはレコード編集画面で、同じ値のカテゴリが複数存在している状態でその同値のカテゴリを指定したとき

- 修正前：同値のカテゴリーがすべて選択される
- 修正後：同値のカテゴリーのうち、最も下に存在するカテゴリーが選択される（PC版と同じ挙動）

エラーメッセージの変更

- 「スペースの本文の更新」API または 「スペースのスレッドの更新」API で、リクエストパラメータ「body」に一時保管領域※ から削除されたファイルの fileKey を含んでいる場合のエラーメッセージを変更
 - 対象 API
 - [スペースの本文の更新](#) PUT /k/v1/space/body.json
 - [スペースのスレッドの更新](#) PUT /k/v1/space/thread.json
 - 内容：

「スペースの本文の更新」API または 「スペースのスレッドの更新」API のリクエストパラメータ「body」に、一時保管領域※ から削除されたファイルの fileKey が含まれた場合のエラーメッセージが変更されます。

 - 変更前：不正なリクエストです。
 - 変更後：添付ファイルが見つかりません。削除されている可能性があります。

※ 一時保管領域は、[ファイルアップロード API](#) を利用してファイルをアップロードした場合にファイルが一時的に保存される場所です。

一時保管領域に保存されたファイルは、レコード登録/更新 API によるレコード添付やスペース添付など紐付けが行われない場合、3日間で一時保管領域から削除されます。

Garoon REST API

新規追加

- API の新規追加
ワークフローの申請データを取得する API が追加されます。
 - ワークフロー：[申請データの取得](#)
GET /workflow/admin/requests
 - 全申請データを取得する API です。
 - ワークフローに対する管理者権限を持つユーザーのみ実行できます。
 - ワークフロー：[申請データに添付されたファイルの取得](#)
GET workflow/admin/files/{fileid}
 - 申請データに添付されたファイルを取得する API です。
 - ワークフローに対する管理者権限を持つユーザーのみ実行できます。

Garoon SOAP API

仕様変更

- **クラウド版レスポンスヘッダーの apiVersion (API バージョン) の発番方針を変更**
 - 対象API
 - すべて
 - [Garoon SOAP APIの共通仕様：Garoon API のバージョン](#)
 - 内容：
クラウド版 SOAP API レスポンスヘッダーの apiVersion (API バージョン) の発番方針が変更されます。
 - 変更前：API 用に発番されるバージョン番号
 - 変更後：プロダクトの内部バージョン番号と同じ (レスポンスヘッダーの version と同じ値になります)

User API

不具合修正

- **「組織の登録」API および「組織の更新」APIで、リクエストボディ「organizations」プロパティに code を含めずに実行した場合の HTTP ステータスコードとエラーメッセージを修正**
 - 対象API
 - [組織の登録](#) POST /v1/organizations.json
 - [組織の更新](#) PUT /v1/organizations.json
 - 修正内容：
リクエストボディの organizations プロパティに、必須項目である code を含めずに実行したとき
 - 修正前：HTTPステータスコード 520 で「不正なリクエストです」エラーとなり、組織情報の追加または更新が行われない。
 - 修正後：HTTPステータスコード 400 で「入力内容が正しくありません」エラーとなり、組織情報の追加または更新が行われない。